



新庁舎開庁から半年

5月8日に市役所新庁舎が開庁し、半年がたちました。5月10日から6月末まで行われた庁舎見学会は自治会・町内会などから多くの方が訪れ、延べ参加人数は1182人にのびりました。

絵画や写真などが展示できる市民ギャラリー。問い合わせは市役所総務課（内線3315）へ



5月下旬には、旧本庁舎1階ロビーにあった「平和の灯」の種火を新庁舎2階のロビーに移設。広島県広島市の平和記念公園から分火されたもので、保管するランプも一新されました。眺めていると、北広島市が平和都市宣言のまちであることを感じさせます。

10月には、市民の皆さんが絵画や工芸品、写真などを展示できる「市民ギャラリー」を5階に開設しました。同じく5階にある展望ロビーは市民の皆さんの憩いの場として定着。昼時には、多くの方が休憩したり、会話を楽しんだ

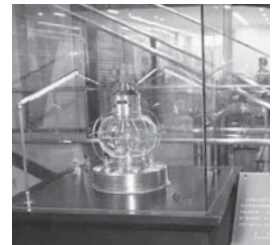


展望ロビー

りしています。また、ISHIYAカフェは、友人同士や家族など、飲食をする人で賑わっています。物販コーナーには、観光客に人気の銘菓「白い恋人」があり、北広島工場で製造された商品も並び始めました。北広島商工会のキャラクター「きたひろ まいぴー」のぬいぐるみなども販売しています。寒い季節になりました。暖かい展望ロビーでゆったり外を眺めたり、地域子育て支援センターあいいいで子どもと遊んだり、これからも気軽に新庁舎を利用してください。



物販コーナー



2階ロビーにともる「平和の灯」

まめ記者

カボチャ栽培から学ぶ



西部中学校3年
中嶋柊耶さん
(前期生徒会長)

西部中学校はコミュニティスクールとユネスコスクールに認定されています。今回はユネスコの理念を実現するため活動し、ESD（持続可能な社会を創造していく学習）を学ぶためにカボチャを育てています。全校生徒で種から育て、今年は392個実りました。収穫したカボチャは地域に寄贈しています。皆さんがとても喜んでくれたので、「育てたかいがあつたな」と思いました。また、これまで集めてきたリングプルを交換した「四点支持杖」も、カボチャと一緒に寄贈することができました。

西部中はいろいろなことに挑戦している学校なので、生徒会としては大変なこともあります。活動の一つ一つ楽しんでやっています。



カボチャ収穫の様子